

第5回 新名寄市病院事業改革プラン策定検討会議 議事録

日時：平成28年3月7日（月）18:15～

場所：名寄市立総合病院 ICU 会議室

- [出席] 橋本副市長、田邊健康福祉部長、木村財政課長、富田東病院事務部長、和泉院長、室野副院長、鈴木副院長、益塚看護部長、早崎薬剤部長、前川医療技術部長
（事務局）市立病院事務局 岡村事務部長、佐々木総務課長、桶谷医事課長ほか
[欠席] 臼田総務部長、佐古東病院長、酒井副院長、北原副院長

1. 開会（岡村病院事務部長）

2. 議題

（1）改革プラン（案）について

【事務局】岡村事務部長より説明

- ・示した案は、まだまだ精査中のもので、表現・内容について継続して精査する。
- ・調整のついていない事項は網掛けのブラインドとしている。
- ・前回までの会議内容について、『第6章 経営形態の見直しに対する方向性』『第5章 再編・ネットワーク化の取組』に落とし込みとしている。
- ・表現内容について議論の余地は多い。会議後でも事務局へご意見をいただきたい。

【座長】今日初めてご覧になった委員も多いと思う。一読していただき、事務局へ意見を出してほしい。「努めていきます」「検討していきます」「図ります」といった踏み込み具合は議論の余地があるだろう。

（2）地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

【事務局】岡村事務部長より説明

- ・現在議論中の地域医療構想だが、方向性は変わらないものとして作成した。

【座長】東病院に関する記載の中で『病床数の削減』との表現については、佐古東病院長が、今日は欠席でご意見が伺えないので、東病院内でも協議いただきたい。

【委員】『削減』という表現は、実際、病床数削減を選択することになるかもしれないが、『調整』とか軟らかい表現の方が望ましいと思う。見方によっては、進んで削減を目指すようにも捉えられる。

(3) 経営の効率化について

【事務局】岡村事務部長より説明

- ・指標、数値目標については、2月実績をふまえた、できるだけ精度の高い数値に設定したいと考えている。次回までに示したい。
- ・具体的な取組は、これまでの改革プラン、中期計画から継続的な項目を取り入れた。
- ・経営感覚に富む人材の登用については、今回のプランからガイドラインに記載されたもの。当市病院事業で記載するか議論が分かれるところと思われる。

【委員】具体的な取り組み2) 収支改善①医業収益の確保の中に『地域完結型の医療』とあるが、市立病院の基本方針にもある通り『質の高い』もしくは『良質な』医療という表現の方がふさわしいと思う。

また②診療報酬の請求漏れ対策とあるが、『請求漏れ』という表現はどうか？『適切な請求』というような表現の方が良いのでは？実際に請求漏れがあるように捉えられる。

【座長】実際に請求漏れがあるのか？

【事務局】請求漏れというより、誤請求による査定がメイン。請求漏れという表現は不適切かもしれない。他の表現を検討する。

【委員】人口減少、高齢化社会は、働き手、医療従事者のなり手が減ること。素案の中には医師と看護師の確保しか記載されていないが、他の医療職はどうか？直接病院に関する職種ではないが、介護職員不足も問題となっている。

【委員】市の福祉施設でも介護職員の確保ができず、ベッドを空けざるを得ない状況。募集しても応募がない。民間施設での同じような状況と聞いている。

【座長】医療を取り巻く課題の中で出てくるものであるが、経営課題と言えるものではない。議会等との兼ね合いも出てくるので、プランに記載するか事務局と調整させていただきたい。

【委員】薬剤師についても、上川北部は少ない地域。

【座長】薬剤師も含めた医療職、地域医療構想も考えると介護職員の不足という問題もあるとい

う意見。問題提起という形となるかもしれないが、どうプランに盛り込んでいくか、事務局と協議させていただく。

【座長】他に委員からご意見、質問等あれば。

【委員】収支計画作成の見込は？

【事務局】3月中にプランを仕上げたい。次回3月30日の会議には明示するので、財政当局とも事前協議させてほしい。なお、ガイドラインでは、計画期間最終年度の32年度までの黒字化、若しくは期間内での黒字化ができない場合、黒字化の時期、その道筋を明らかにするように求められている。

【委員】計画期間内での見直しは行わないのか？

【事務局】計画と実績での乖離状況によって、随時見直しをかけることになる。前回は、計画期間内に黒字化を達成したためプラン終了となったが、黒字化を達成できなかった病院は、改革プランの見直しを図りながら期間を延長している。

(4) その他 第6回策定検討会議 平成28年3月30日(水) 18:00～
市立病院2F 講義室

【座長】議会でも病院経営の質問あり関心が高い。また、今プランの中にも記載しているが、市民へのアナウンスに関する質問、意見も多い。議会での答弁、考え方も今プランに盛り込んでおければ良いと考える。

また、次回30日の会議後は、パブリックコメントにかけて、その後、議会への説明も必要となる。その辺りのやり取りも考慮しながらの策定作業になると思うが、ご協力を。プラン案の内容・表現についての意見を、次回会議までに事務局へお寄せいただきたい。

3. 閉会